相談支援部会 報告

1. 下野市精神障がい者地域支援WG53（第14回）

- 【日時】 令和6年12月19日（火）10:00～11:45
- 【場所】 市庁舎201会議室
- 【参加者】 10名+実習生4名+事務局3名
- ◆WADEWADE 訪問看護ステーション下野
 - ◆小山富士見台病院
 - ◆小山地区精神保健福祉会
 - ◆株式会社サトーホーム
 - ◆県南健康福祉センター（+実習生）
 - ◆有限会社とやま不動産
 - ◆市障がい児者相談支援センター
 - ◆相談支援事業所フラワー
 - ◆精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業密着アドバイザー

居住支援法人（とやま不動産）と不動産業者（サトーホーム）を招き、精神障がい者を取り巻く賃貸契約の課題や、居住支援法人の動きについてお話ししていただいた。

精神障がい者が賃貸住宅の契約を希望しても、オーナー（大家）や保証会社から難色を示されることが多い。理由は報道等を根拠にした、精神障がい者に対する“良くないイメージ”であり、資産価値が下がることを恐れている。居住支援法人としては、少しでも理解のあるオーナーを増やそうと奮闘しているとのこと。

WGメンバーと共に意見交換をし、「オーナー側に保証金制度があるとよい」「このワーキングのような多職種による支援体制がある、ということが知られていない」「実際に精神障がい者と接する機会が必要」等の意見が出された。

想像していた以上に、偏見が根強くある現状が確認できた。まずは居住支援法人と協力しながら、成功事例を積み上げていく必要がある。

2. 市内障がい福祉施設従事者研修会の実施について

【日 時】 管理者向け：令和6年12月18日（水）13：30～15：30

従事者向け：令和7年2月13日（木）13：30～15：30

【場 所】 市庁舎 303 会議室

【参加者】

◆管理者向け（9名）

- ・就労継続 A 型事業所
- ・児童養護施設

- ・就労継続 B 型事業所
- ・共同生活援助

◆従事者向け（9名）

- ・相談支援事業所
- ・放課後等デイサービス

◆アンケート結果から —抜粋—

（管理者）

- ・職員にまかせて自信をつける支援をすることが有効であると感じた。
- ・世話人という職種に対しても、制度として必要な業務（監査内容等）という視点で仕事を依頼するのも1つの方法であると思った。
- ・職員間のコミュニケーションを工夫して増やす必要があると実感しました。
- ・一人一人の声を聞き発言しやすい「雰囲気作り」から始める事が大切と実感しました。
- ・成長のポイントを見逃さず声掛けできるように心がけていこうと思った。

（従事者）

- ・実際に困っているケースをそれぞれ相談し合えてよかった。
- ・職員が、他業種の方と気軽に話が出来る場がもっと増えると良いと思った。
- ・夢中（こだわり）になっている事を止めさせようと考えてしまうが、新しい行動に移行させる支援はとても難しい事だと実感した。こだわりの強い方が、自分で区切りを付けやすいパターンを一緒に模索し、関わっていききたいと思う。
- ・「障がいについて」とそれぞれの事業所での悩みを相談することができたため、とても良かった。グループワークのメンバーの事業所もバラバラで様々な意見が出てとてもよかった。
- ・職員全体で利用者様の良い点について話すようにしていきたい。
- ・グループワークで「対応の仕方」「アドバイス」など意見を頂き、本日から職場で実践していきたいと思う。